## 【茅ヶ崎遊技場組合】

## サザンビーチちがさき(茅ヶ崎東海岸)に 児童養護施設などの子供たちを招待しふれあいイベントを開催

1.	日	時	平成 25 年 8 月 22 日 (木)
2.	場	所	神奈川県茅ヶ崎市 サザンビーチちがさき (茅ヶ崎東海岸)
3.	参加	〕者	茅ヶ崎市内児童養護施設、鶴見区内養護学校、及び茅ヶ崎市内、寒 川町内等の子供たち。福島県から震災で茅ヶ崎市内に避難されている 家族など
4. 参加人数			239 名

5. 概 要 茅ヶ崎遊技場組合(髙山裕幸組合長)は、茅ヶ崎市内の児童養護施設などの子供たちを多数招き、ふれあいイベントを開催しました。

このイベントは今回で 5 回目を数えますが、子供たちはホールスタッフともすっかり「お友達」になっていて、心からこの日を待ち望んでいたようで、ビーチに到着するやスタッフとの再会に大きな歓声が上がっていました。

今回は、毎年恒例となっている地引き網漁は高波のため残念ながら中止となりましたが、透き通った青空のもと、すいか(風船)割りや、尻相撲大会、くだもの取り競争など、スタッフとペアで参加する楽しいイベントが盛りだくさん行われ、今年も茅ヶ崎のビーチは「えぼし岩」に届かんばかりの子供たちの元気な笑い声に包まれました。

今回招待した児童養護施設には様々な事情で心を閉ざした子供たちも多くおります。 このふれあいのイベントはそのような子供たちに「人の優しさ」や「温かさ」を、体を ふれあいながら伝えていくことが大きな目的となっています。

茅ヶ崎・寒川のパチンコホールのスタッフはもちろんのこと、呼びかけに賛同したパチンコ機械メーカーなどの業界関係者、地元の広報誌の記者、レストランのシェフ、関係団体の方も多数駆けつけボランティアとして参加し一緒に楽しみ、イベントを盛り上げました。

なお、この事業は平成 21 年度の全日本社会貢献団体機構の支部組合部門最優秀賞を受賞しています。





湘南の海をバックにイベントは体を使ったものばかり





風船が割れても割れなくても、子供たちはたくさんのお土産をもらって大喜び



僕たちが捌いた魚は後日干物になり給食でいただきました

神奈川県遊技場協同組合